

楽 読 楽 書 第25号

平成26年10月発行

精華町立図書館

所在地：〒619-0285 京都府相楽郡精華町大字南稻八妻小字北尻70番地
電話：0774-95-1911 FAX：0774-95-3976
HP：<http://www.town.seika.kyoto.jp/library/>

おすすめの本

『室井滋のオシゴト探検 玄人ですもの』

室井滋（著）
中央公論新社 281

銭湯絵師、麻薬Gメン、トイレの建築家などなど…女優室井滋が27人のプロの仕事人にせまった対談記。知性の出し具合もほどよく、相手のふところに素直に飛び込み、ここぞというところをじっくりと聞き出す妙はさすがです。彼女もまさに玄人と言えます。

この本で一本勝負を受けて立った達人の中から4人をピックアップして、その著書も紹介します。

『はじめての短歌』

穂村弘（監修）
成美堂出版 911.1

まず有名、無名の優良歌あり。その隣にその歌の改悪作を置き、解説へと続きます。なるほどなるほど、短歌の世界はやはり奥が深いもの。あなたも一首ひねるべし。

『魂の書』

金澤翔子（書）
金澤泰子（文）清流出版 728.2

ダウン症の女流書家などという肩書きをふっとばすくらい迫力のある翔子さんの書に心躍らされ、母泰子さんの文には心ゆさぶられます。

『九州新幹線800系誕生物語 ぼくは「つばめ」のデザイナー』

水戸岡鋭治（作・絵）
講談社 児童 546

鉄道マニアには超有名で、「つばめ」だけでなく九州を走るあの超豪華列車「ななつ星」も水戸岡デザイン。まさに列車デザインのトップをいく水戸岡さんは、「素晴らしいデザインは大勢の人たちの知恵と力でできるものだ」と言います。

『絵とき ゾウの時間とネズミの時間』

本川達雄（文）あべ弘士（絵）
福音館書店 児童 481

大きいことは、いいことだ。ゆっくりとマイペースで生きていける。小さいことは、いいことだ。回転がはやく、環境への対応もすばやくできる。そんなことをゾウとネズミにたとえて教えてくれる、大人にもおすすめの本書です。